

言語学 研究  
*Linguistic Research*

第17-18号

**1999**

言語学研究  
*Linguistic Research*

第17-18号

**1999**

# 目 次

## 論 文

Two Alliterative Uighur Poems from Dunhuang Abdurishid YAKUP .....	1
夏蔵対音資料からみた西夏語の声調 A Study on the Tone of Tangut from Tibetan Transcriptions 荒川慎太郎 (Shintaro ARAKAWA) .....	27
変化述語をもつ「どんどん」文の意味からわかる「動詞固有の意味」と「文の意味」、 そしてその関係について Japanese Adverbial “Dondon” and Change-predicates Generate Various Event Interpretations — About its Limitations and Generativities — 小西正人 (Masato KONISHI) .....	45
チベット語現代ラサ方言の 2 音節間に現れる -b- について On the Inter-syllabic -b- in Modern Lhasa Tibetan 白井聡子 (Satoko SHIRAI) .....	59
On Initial Vowel Doubling in St. Lawrence Island Yupik Kayo NAGAI .....	73
ロシア所蔵ウイグル語断片の研究 1. 「増一阿含経」 Uighur Ekottara-āgama fragments preserved at St. Petersburg 庄垣内正弘 (Masahiro SHŌGAITO) .....	93
京都大学言語学懇話会 1998 - 1999 年度活動報告 .....	123

#### 編集後記

遅れに遅れておりました『言語学研究』ですが、1998-1999年の合併号としてようやく発行の運びになりました。早くから原稿をいただいていた方々には本当に申し訳ありませんでした。

2000年という節目の年にあたり、次号から編集体制を一新し、タイトルも変更の予定です。なおいっそう充実した雑誌になるよう、努力していきたいと存じますので、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

編集委員長

---

---

1999年12月24日発行

編集委員長：森 若葉；編集委員：永井佳代、大崎紀子、白井聡子  
千田俊太郎、西村周浩、朴永梅

発行者：京都大学言語学研究会  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
京都大学文学部言語学研究室内

---

Edited by Wakaha MORI, Kayo NAGAI, Noriko OHSAKI, SHIRAI Satoko  
TIDA Syuntaroo, Kanéhiro NISHIMURA, PARK Young-Mae

Published by Kyoto University Linguistics Circle  
c/o Department of Linguistics,  
Faculty of Letters, Kyoto University,  
Yoshida-Honmachi, Sakyo-ku, Kyoto,  
606-8501 Japan

---

---